

第17回 PERIO PBL カンファレンス

担当：医療支援歯科治療部

テーマ：「周術期口腔管理と体重変化～感染管理と咀嚼機能の観点から～」

2015年11月25日（水）17：30～18：10



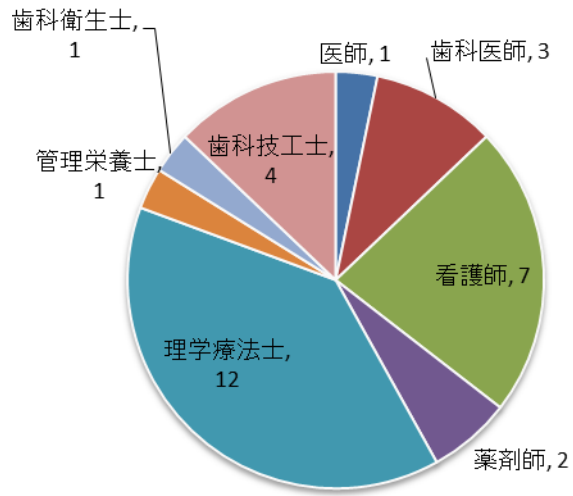
第17回目の担当は、医療支援歯科治療部でした。テーマは、「周術期口腔管理と体重変化～感染管理と咀嚼機能の観点から～」でした。

今回の症例では、口腔内の感染管理と術後の咬合回復を目標に、術前化学療法開始前から、口腔内チェックや治療だけでなく、術後合併症を予防するための口腔管理を行っていたことが述べられました。義歯の制作を術前化学療法前に行い、術後の咀嚼機能の回復を目指して、早期から介入されていました。その結果、術後の咀嚼機能の回復が体重増加に影響した可能性があることが示唆されました。

管理栄養士からは、下痢の影響について質問があり、下痢が治まる一因には、義歯が入り、咀嚼機能が改善されることで、消化も良好となり、体重増加に影響があったのではないかとの意見がありました。理学療法士からは、今回のカンファレンスを通して、改めて咀嚼の必要性を感じ、体重が減少している場合や、義歯の有無によって活動量を変更するなどの視点を持ち、今後のリハビリに活かしていきたいとの意見がありました。看護師からは、歯科の介入時期を早期から行うことで、多職種との連携がより良好になったことが述べられました。今後は、医療支援歯科治療部による治療計画が多職種で把握できるように改善していきたいとの意見がありました。また、咀嚼の評価方法や咬合紙の意味について質問があり、歯科医師より咬合の状態や、評価の目安のために、咬合紙を使用して、咬合の強さや面積などを確認し、咀嚼の評価を行っているとの説明がありました。

多職種が一堂に集まり、患者さんのためによりよい医療が提供できるよう、顔を見合わせて意見交換を行うことの大切さを改めて実感しました。今後も医科と歯科の連携を大切に、チーム医療に役立てていきます。

参加者職種別内訳	
職種	人数
医師	1
歯科医師	3
看護師	7
薬剤師	2
理学療法士	12
管理栄養士	1
歯科衛生士	1
歯科技工士	4
計	31



参加者職種別内訳
人数